

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 稲葉カヨ

2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

3 電話番号

075-212-7490

4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/> (京都市男女共同参画センター)

5 設立年月日

平成5年5月24日

6 基本財産

50,000千円(うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が発揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前条の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (TEL075-222-3091)

10 役員名等

(1) 理事長

稲葉カヨ

(2) 専務理事

水口重忠

(3) 常務理事

津田美智子

(4) 理事

今井まゆり, 川村雅己, 佐野恭子, 清水智子,

寺井一郎 (文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課長), 福田真子, 横山晶子,

安田三江子

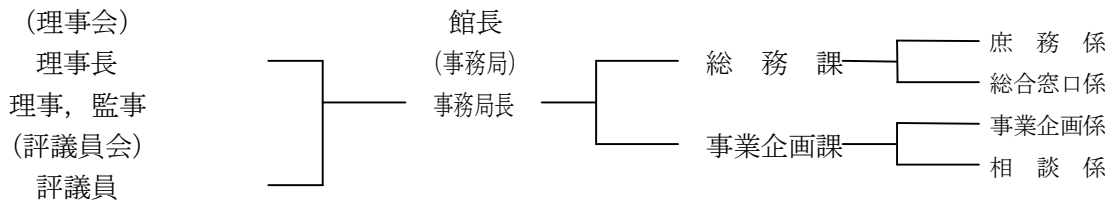
(5) 監事

寺西章郎, 村上博保, 吉田良比呂 (京都市文化市民局共同参画社会推進部長)

11 常勤職員数

11人(うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成27年度決算

(1) 事業報告

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

(イ) 図書事業

ブックフェア開催, ブックリスト発行, お話を聞く会/朗読を聞く会

(ウ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信 (ホームページ, メールマガジン, ブログ, Facebook 等)

b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 男性の働き方調査研究事業

(イ) データブック作成と調査研究

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報, 啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

a 男性のための生き方講座

b 男性の家事・育児参画講座

c 女子学生就職前講座

d 両立支援事業

e ワーク・ライフ・バランス講演会

f 女性の活躍推進事業

g 父と子のパンづくり講座

(イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業

a みんなで考える男女共同参画講座

b ブック・トーク

c 親子で楽しむコンサート

d 理系女子応援セミナー

e 女子小学生対象出前講座

f 女性の活躍の「見える化」事業

(ウ) 教養・健康増進事業

運動実技講座・うた講座・その他教養講座

(エ) 保育事業

事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場

エ 男女共同参画に関する相談

(ア) 相談業務

一般相談・専門相談

(イ) 相談事業

a DV 被害当事者のための自立支援事業

b グループ相談会

- c 大学相談室派遣事業
- (ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
 - a ウィングス・フォーラム
 - b センター利用者や地域との協働事業
 - c ピンクリボン活動啓発事業
 - d 人権・男女共同参画研修（中京ふれあい人権講座）
- (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
 - a DV・性暴力被害者支援講座
 - b DV 予防講座
 - c インストラクター及びサポーター活用事業
 - d パープルリボンの取組他
- (ウ) 人材・団体育成事業
 - a 市民活動サポート事業
 - b 女性の防災リーダー育成事業
 - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - d 相談員養成講座
- (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外に対する施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成28年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	99,554	102,989	△ 3,435
未収入金	1,234	330	904
前払金	46	136	△ 90
立替金	571	0	571
仮払金	0	901	△ 901
流動資産合計	[101,404]	[104,356]	[△ 2,952]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
投資有価証券	30,000	30,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	55,788	55,788	0
備品更新準備資金	3,604	3,604	0
施設改良準備資金	0	2,646	△ 2,646
図書情報室活性化資金	0	2,593	△ 2,593
省エネルギー化資金	0	1,365	△ 1,365
施設改良資金24	0	2,417	△ 2,417
20周年記念事業準備資金	3,127	5,273	△ 2,146
人材育成事業準備資金	2,118	3,000	△ 882
保育事業積立資産	0	100	△ 100
什器備品	0	246	△ 246
ソフトウェア	479	2,394	△ 1,915
特定資産合計	(65,116)	(79,426)	(△ 14,310)
(その他固定資産)			
建物附属設備	2,610	3,047	△ 436
什器備品	2,097	3,241	△ 1,144
ソフトウェア	2,287	3,094	△ 807
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(8,590)	(10,978)	(△ 2,388)
固定資産合計	[123,706]	[140,403]	[△ 16,698]
資産合計	225,110	244,759	△ 19,650
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,341	23,801	△ 8,461
預り金	525	847	△ 322
前受金	7,468	7,355	114
賞与引当金	4,805	5,076	△ 271
流動負債合計	[28,139]	[37,080]	[△ 8,941]
2. 固定負債			
退職給付引当金	61,840	59,148	2,692
固定負債合計	[61,840]	[59,148]	[2,692]
負債合計	89,978	96,227	△ 6,249
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,479]	[52,740]	[△ 2,261]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(479)	(2,740)	(△ 2,261)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[84,652]	[95,792]	[△ 11,140]
(うち特定財産への充当額)	(8,203)	(18,715)	(△ 10,512)
正味財産合計	135,131	148,532	△ 13,401
負債及び正味財産合計	225,110	244,759	△ 19,650

正味財産増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	290	294	△ 4
事業収益	215,245	217,746	△ 2,501
受取補助金等	2,248	2,321	△ 73
受取寄付金	192	0	192
雑収益	1,951	1,913	38
経常収益計	219,927	222,274	△ 2,347
(2) 経常費用			
事業費	226,237	226,934	△ 697
管理費	4,829	4,373	456
経常費用計	231,066	231,307	△ 240
当期経常増減額	△ 11,140	△ 9,033	△ 2,107
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 11,140	△ 9,033	△ 2,107
一般正味財産期首残高	95,792	104,824	△ 9,033
一般正味財産期末残高	84,652	95,792	△ 11,140
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	100	△ 100
一般正味財産への振替額	△ 2,261	△ 2,161	△ 100
一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 2,261	△ 2,061	△ 200
指定正味財産期首残高	52,740	54,801	△ 2,061
指定正味財産期末残高	50,479	52,740	△ 2,261
III. 正味財産期末残高	135,131	148,532	△ 13,401

2 平成28年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供

(ア) 図書資料の収集と提供

ブックフェア開催、ブックリスト発行、お話を聞く会／朗読を聞く会

(イ) 情報発信事業

a インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook等）

b 啓発誌・講座案内の発行

イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究

(ア) 男性の働き方調査研究事業

(イ) データブック作成

ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援

(ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業

a 男性のための生き方講座

- b 男性の家事・育児参画講座
- c 両立支援事業
- (イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業
 - a みんなで考える男女共同参画講座
 - b 理系女子応援セミナー
- (ウ) 教養・健康増進事業
 - 運動実技講座・うた講座・その他教養講座
- (エ) 保育事業
 - 事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場
- エ 男女共同参画に関する相談
 - (ア) 相談業務
 - a 一般相談
 - b 専門相談
 - (イ) 相談事業
 - a DV 被害当事者のための自立支援事業
 - b 大学相談室派遣事業
 - (ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
 - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
 - a 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）
 - b センター利用者や地域との協働事業
 - c ピンクリボン活動啓発事業
 - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
 - a DV・性暴力被害者支援講座
 - b DV 予防講座
 - c インストラクター及びサポーター活用事業
 - d パープルリボンの取組他
 - (ウ) 人材・団体育成事業
 - a 市民活動サポート事業
 - b 女性の防災リーダー育成事業
 - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - d 相談員養成講座
 - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理，組織・人事管理，財務運営

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	250	250	0
事業収益	212,560	213,970	△ 1,410
雑収益	2,500	1,500	1,000
経常収益計	215,310	215,720	△ 410
(2) 経常費用			
事業費	227,791	227,610	181
管理費	6,138	5,642	496
経常費用計	233,929	233,252	677
当期経常増減額	△ 18,619	△ 17,532	△ 1,087
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,619	△ 17,532	△ 1,087
一般正味財産期首残高	78,260	95,792	△ 17,532
一般正味財産期末残高	59,641	78,260	△ 18,619
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 540	△ 2,200	1,660
指定正味財産期首残高	50,540	52,740	△ 2,200
指定正味財産期末残高	50,000	50,540	△ 540
III. 正味財産期末残高	109,641	128,800	△ 19,159

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	217,565	222,274	219,927	215,310
	当期経常増減額	△10,859	△9,033	△11,140	△18,619
	当期正味財産増減額	△13,272	△11,094	△13,401	△19,159
貸借対照表	総資産	244,130	244,759	225,110	
	総負債	84,504	96,227	89,978	
	正味財産	159,626	148,532	135,131	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H25 (決算)	H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (予算)
委託料	男女共同参画センターの管理運営 (指定管理)	180,000	185,170	180,000	180,000
	男性のためのDV電話相談及びDV予防講座事業	1,000	960	960	960
	「新島八重に学ぶ男女共同参画大学」運営業務	1,000			
	DV被害者支援インストラクター及びサポーター活用事業	1,680	950	850	100
	女性の活躍推進シンポジウム		1,000		

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から3年連続で当期正味財産増減額が赤字となっている。原因としては、職員の年齢構成の適正化を目的とした職員の新規雇用や、消費税増税による経費の増加等が挙げられる。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理受託施設である京都市男女共同参画センターの年間入館者数については、昨年度実績を上回るとともに、施設稼働率についても高い水準を維持しており、安定した運営が実現している。 業務については、自主事業の受講者数は増加したものの、受託事業の受講者数が減少していることから、講座の内容や開催時期等に工夫を凝らし、受講者数の増加を図る必要がある。 相談業務においては、増加する相談件数に対応できており、引き続き、相談員の確保に努め、大学や企業等からの相談事業の受託などニーズに応じていくことが望まれる。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> 3年連続となった当期正味財産増減額の赤字は、固定費である人件費の増加による構造的な問題であり、公益財団法人に求められる収支相償の実現に向け対策が必要である。
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の充実による自主財源の確保も重要であるが、受託事業における講座受講者の確保による公益事業の遂行も重要である。